

ランチと知恵袋 2025.6.5.

ぐんま脳損傷者地域拠点プロジェクト



高次脳機能障害のある人の社会参加と回復を支える場
cocokara

何故、会を立ち上げたか

- 高次脳機能障害は後天的な脳損傷によって起こります。適切なリハビリテーションと安心できる環境があれば、1年、3年、5年、10年と少しずつ回復していきます。
- **しかし、群馬県には、退院後に、専門的な相談やリハビリテーションを受けられる場がほとんどないのです！**



では次のような事業を行っています

1人で悩まないで

相談

回復をあきらめない

リハビリテーション



語り合おう

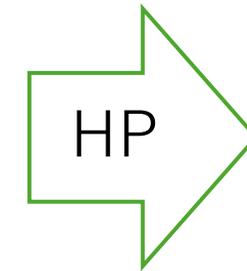
自助グループ

cocokara



知ることは支えること

**ヒューマンライブラリー
COZY対話カフェ**



相談・リハビリテーション

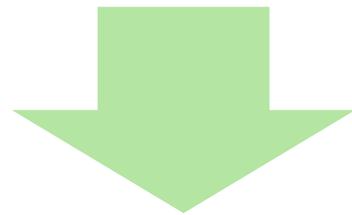
- **相談**

- WAIS-IV、WMS-R、RBMT、TMT、CAT-R、WAB、RCPM等の神経心理学的検査
- 参加観察による行動評価
- 目的志向型リハビリテーション



目的志向型リハビリテーション

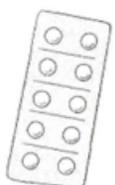
- その人が希望していることを目標にして、そのために必要なことを行う
- 何故できないかより、どんな工夫や支えがあればできるか
- どう本人を説得するかより、どうしたら本人が納得できるか



そのほうが
その人が自発的に行動できるようになるから



① ●☆△ の相談員に支援依頼



②薬の調整：入院（1か月～3か月）



③アパート探し・引っ越し

●
☆
△
での暮らし

6
月

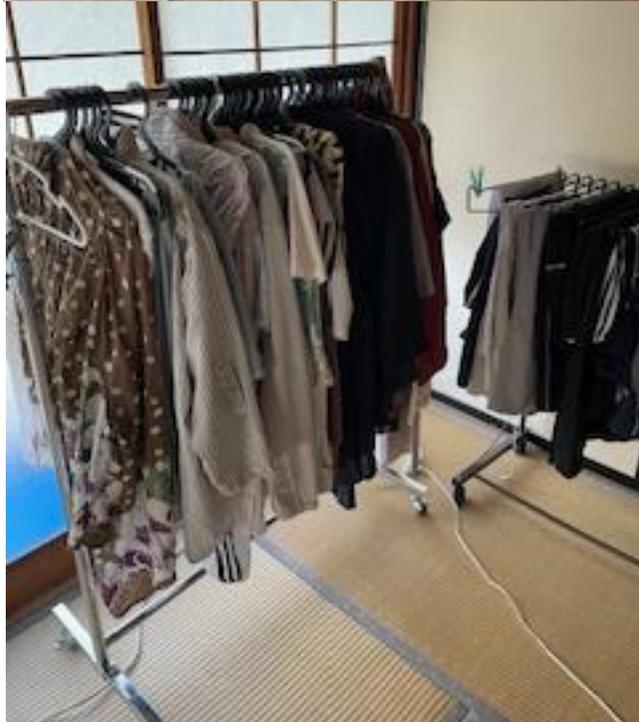
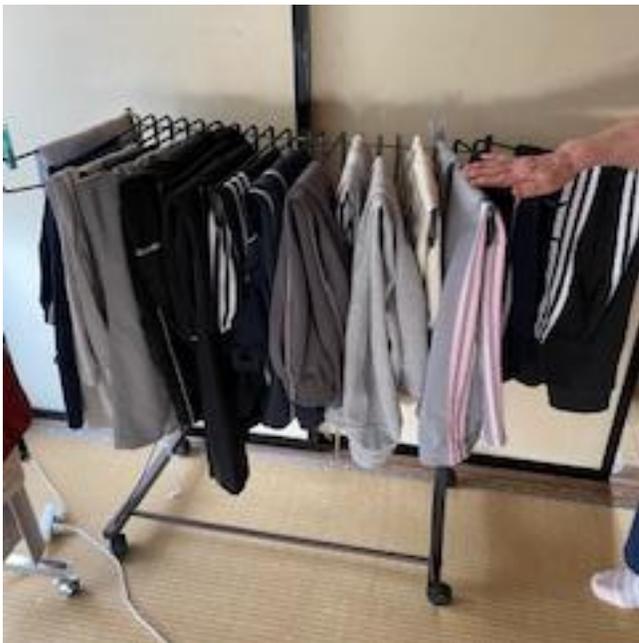
5
月

4
月

3
月

2
月

1
月



自助グループcocokara

- 高次脳機能障害のある当事者が中心
- 情報交換と対話の場
- どなたでも参加可能
- 毎月第2日曜日 10:30～12:00
- 近況や話したいこと、生活上の困りごとやその対応について、イベントの計画作り等



The poster for the 'cocokara' support group features a red feather logo in the top left corner. The title 'cocokara' is written in large, colorful letters. Below the title, there are four cartoon characters with thought bubbles containing questions and answers about the group. The text describes the group's purpose as a place for information exchange and dialogue for people with high-order brain dysfunction. It includes details about the date (June 8, 2025), time (10:30-12:00), and location (Nagasaki City, Nagaoka Ward). A QR code and contact information are provided for registration, and the event is free of charge. The organizers' names and the project name are listed at the bottom.

高次脳機能障害のある人の自助グループ
cocokara こ・こ・か・ら

この事業はあい
啓福共済連合会
の助成を受けて
実施します

高次脳機能障害が
あると大変だね。
誰、どうしてるの？

高次脳機能障害のある
人と話したこと
ないな～

cocokara
(ここから)
って何？

だね！

cocokara (ここから) は
ともに学び 理解し合い それぞれの生活に生かす
高次脳機能障害についての『情報交換と対話の場』

✦ 参加者 高次脳機能障害のある人
ご家族、高次脳機能障害に関心のある支援者や一般の方もどうぞ！

✦ 日 時 2025年6月8日(日) 午前10時30分～12時

✦ 場 所 元総社町第10区区民館(旧 元総社町78区区民会館)
(新潟市元総社町2-4-2 駐車場あり、J/R新前橋駅より徒歩9分)

参加費：無料

申し込みはQRコードから⇒
または
TEL：027-226-5514へ
不在時は留守番に吹き込んでください

発起人：石原佳奈、藤原凌太、南宮志菜 主催・問合せ：ぐんま脳損傷者地域拠点プロジェクト

ヒューマンライブラリー COZY対話カフェ

- 多くの人に高次脳機能障害のことを知ってもらいたい
- ヒューマンライブラリー（生きている図書館）の形式で行う対話カフェ
- 「本」役は高次脳機能障害のある人、家族、支援者など
- 「読者」役はどなたでも
- 唯一のルールは本を傷つけないこと

上毛新聞
2025.1.14

「障害を正しく知ってもらいたい」と訴える繁野さん



脳損傷者地域拠点プロジェクト

居場所づくりや情報発信

高次脳機能障害
「正しい理解を」

利用方法

- 継続的な相談やリハビリテーション
(来所、訪問、TEL・オンライン可能)

初回相談とお試し1回は無料 2回目からは1,000円/回

- 自助グループcocokara、COZY対話カフェ

ホームページに掲載、Googleフォーム、TEL、メールで申込
参加費は無料

TEL 0 2 7 - 2 2 6 - 5 5 1 4

留守電にメッセージをお願いします

メール gunma-koujinou@nifty.com